

第二章

「理想のボート完成への投入」



内容

- 紹介
- なぜボート開発が重要なのか
- ボート開発の年表
- 1993年
- 1994年
- 1995年
- 1996年
- 1997年
- 1998年
- 1999年
- 2000年
- 2001年
- 2002年
- 2003年
- 2004年
- 「グッドゴー」シリーズ

第二章

理想のボート完成への投入

1993年～2004年

「船がないと、いくら海洋摂理に適した環境条件が整っていても、どうしようもないのです。いくら船を持ちたいと思っても経済力がないと船が持てないように、いくら魚をたくさん釣る能力があっても、船を操縦する素質があっても、船がなければ本当にどうしようもないのです。そういうわけで海洋産業を始めました。どうすれば世界に通じる素晴らしい船を造れるか、経費がかからなくて、頑丈で、見た目に美しく、誰にでも好まれる船をいかに造るか、ということを実際に考えました。」

米国での海洋摂理第一次20周年記念式典におけるみ言葉、1994年8月1日

「理想のボート完成への投入」



内容

➤ 紹介

- なぜボート開発が重要なのか
- ボート開発の年表
- 1993年
- 1994年
- 1995年
- 1996年
- 1997年
- 1998年
- 1999年
- 2000年
- 2001年
- 2002年
- 2003年
- 2004年
- 「グッドゴー」シリーズ

「理想のボート完成への投入」の紹介

1993年はお父様が「海洋趣味産業時代」の到来を宣言された期間です。時を同じくして国連も1994年に国際海洋法を批准し、世界は各国が200海里沖まで自国の領土として開発する時代に突入いたしました。お父様はこの200海里沖までを舞台にした海域での「海洋趣味産業時代に適したボートの開発」を始められたのです。

お父様は1994年8月1日米国海洋摂理20周年記念式典で遂にボートの一般市場への販売を宣言されました。世界一のボート会社を目指されるお父様は、当初から（28フィートに換算して）1日1隻製造販売する会社を目指され、米国に於けるボート会社の最終目標を年間900隻製造販売とされました。そして2006年までには60フィートまでのボートを製造する会社を目指しボート工場づくりを一貫して指導してこられました。同時にお父様は南米・韓国に同規模のボート工場を設立しながら、如何に6大陸にボート工場の拠点をづくり世界化するかということに取り組みされました。

このような中で2000年1月遂にニューヨークボートショウを出発点としてボートの一般市場への販売が開始されました。以来毎年平均30隻ずつ販売され、2004年初旬までに約120隻が米国東海岸を中心に販売されました。

第二章「理想のボートへの投入」では、お父様が驚くほど細やかにボートの開発、製造を指導されてきたご様子を、ボートに関する出来事や指示事項、写真集録などを通してご紹介しています。また、この章の最後には、2004年までに開発された「グッドゴー」ボートシリーズ、そしてそれに対する評価などをご紹介いたします。



内容

- 紹介
- **なぜボート開発が重要なのか**
- ボート開発の年表
- 1993年
- 1994年
- 1995年
- 1996年
- 1997年
- 1998年
- 1999年
- 2000年
- 2001年
- 2002年
- 2003年
- 2004年
- 「グッドゴー」シリーズ

なぜボート開発が重要なのか

人類の真の父母であられる御父母様はボート開発に驚くべき量の時間を投入して来られました。なぜボート開発がそれほど重要なのでしょうか。それは第三祝福である人類の万物主管権復帰及び神様の被造万物世界に対する所有権転換を、海洋摂理を通して具体的には海洋趣味産業摂理の定着を通して行おうとされているからです。海洋趣味産業時代にふさわしい理想のボートの製造なくして、その時代を迎えられないからです。海洋趣味産業時代には、人々は資源の宝庫である全海域を活用するようになり、海が文化の基礎となり、陸上での車の発達以上にボートが発達するようになります。

「一匹の魚の恩は一日の恩、魚の釣り方を教えてくれた恩は生涯の恩」という諺があります。御父母様は人類を飢餓・食糧問題から解放するため、ただ一匹の魚を与えるのではなく、具体的に飢餓・食糧問題を根本から解決する道としての魚釣りを全人類に普及することを願われ、その為に最も安全で美しく、機能性、経済性を備えたボートの開発・製造を進めて来られたのです。



細やかにボート開発を現場で指導されるお父様のお姿
1994年5月、リトルフェリーボート工場にて

第二章

「理想のボート完成への投入」



内容

- 紹介
- なぜボート開発が重要なのか
- **ボート開発の年表**
- 1993年
- 1994年
- 1995年
- 1996年
- 1997年
- 1998年
- 1999年
- 2000年
- 2001年
- 2002年
- 2003年
- 2004年
- 「グッドゴー」シリーズ

ボート開発の年表

1963



天勝号建造

1978



28フィートオリジナルグッド
ゴーボート150隻建造

マスターマリン・
ニューヨーク設立



FRPボート開発スタート

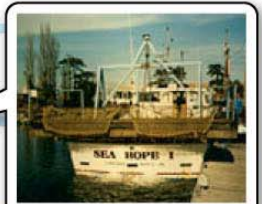
アラバマ・マスター
マリン社買収

1980

1983



85フィート(ワンオー
シャンI)建造-世界
最大のFRPボート



40フィート(シーホープ
I)、52フィート(シー
ホープIII)建造

1987

1988

韓国一興造船所設立



102フィートFRPボート
(ワンオーシャンII)建造



ファーストホープ(52フィ
ート)I、II、III建造

1989

1991



オーシャンピース
(200フィート底曳き兼
加工船)改造

新型のボート開発開始



ST160、TW200、TF240、TE280完成

1993

1994



韓国一興造船所でグッ
ドゴー製造開始



米国海洋摂理20周年
記念展示会



ハイスピードボート完成

1996

六大陸にボート工場
設置計画開始

ワイドーボート、
TE281完成



ワンフロアーキャビン
ボート、TE282完成



リバーボート、ST161
完成

第二章

「理想のボート完成への投入」



内容

- 紹介
- なぜボート開発が重要なのか
- **ボート開発の年表**
- 1993年
- 1994年
- 1995年
- 1996年
- 1997年
- 1998年
- 1999年
- 2000年
- 2001年
- 2002年
- 2003年
- 2004年
- 「グッドゴー」シリーズ

ボート開発の年表

